

「サイエンスライブ」参加報告

サイエンスライブプロジェクト

代表 1年B組 阿部 綾美

4年B組 玉置翔太郎

指導教員 野上 朋子

1. 概要

「サイエンスライブ」とは、まほろば・けいはんな科学ネットワーク推進室(以下、科学ネットワークとする)が主催する小学生対象の科学講座や工作実験コーナー等のイベントのことであり、奈良県下を中心に年4回実施されている。多数の機関が関わっているネットワークであるが、「サイエンスライブ」の工作実験コーナーは、奈良女子大学が主となりいくつかのブースを出展し小学生の指導にあたっている。私たちはその工作指導の補助役として昨年度(2011年度)から参加している。今年度(2012年度)は、昨年度の反省を生かし、サイエンスライブ当日に向けての事前学習と、当日の活動を振り返り次回へ繋げるための事後学習を行うことにした。

以下、私たちが参加したサイエンスライブの様子と、そのサイエンスライブ前後に行った事前学習・事後学習内容とその成果について報告する。

開催地	奈良	枚方
開催日時	2012年7月22日(日)8:30~17:00	2012年8月9日(木)8:30~17:00
開催場所	奈良市教育センター	枚方市教育文化センター
参加人数	1年生7名、4年生3名 計10名	1年生5名、4年生2名 計7名
担当 ブース	LEDプラネタリウム・ピンホールカメラ・風船カー・折り紙・ひも編み・室内凧・・・各ブースを1,2名が担当	室内凧・空気砲・ストロー笛・ひも編み・折り紙 ・・・各ブースを1,2名が担当
事前学習	2012年7月13日(金) 本校物理教室にて	2012年8月1日(水) 科学ネットワーク事務局にて
事後学習	2012年8月1日(水) 科学ネットワーク事務局にて	2012年9月3日(月) 本校ゼミ1教室にて

2. 活動報告

(1)事前学習の実施

図1は、枚方で実施されるサイエンスライブに向けて行った事前学習の様子である。

サイエンスライブ当日に指導予定の工作を実際に作製することにより、工作の手順を確認すると同時に、指導する上で注意すべきことをみんなで確認し合うことができた。



図1「事前学習」

(2)サイエンスライブ当日の活動

図2および図3は、本校生徒が担当したブースの様子である。



図2「空気砲」



図3「ピンホールカメラ」

工作に参加した小学生からは「わかりやすかった」や「楽しかった」などの声が、本校生徒からは「団結力を感じた」や「事

前学習で学習したことを応用して、教えられた」などの声があり、事前学習の効果が見られた。

(3)事後学習の実施

事後学習では、サイエンスライブ当日に科学ネットワークが行っている、参加者用アンケートの結果が公表され、それをもとにして、良かった点や反省すべき点を共有した。そして、みんなで議論することで、次回のサイエンスライブにその反省がいかせるよう改善方法を検討した。

(4)サイエンスライブプロジェクトの設立

事後学習で、来年度は補助役としてではなく、出展者として活動したいという意見が多かった。そこで、私たちは「サイエンスライブプロジェクト」を設立し、出展する工作を検討することにした。

2013年2月現在、このプロジェクトには1年生9名、3年生1名、4年生7名計17名が所属しており、3班(1班5~6名程度)に分かれ活動している。班ごとに放課後などを利用して、工作内容を決定し、試作を繰り返している。来年度のサイエンスライブには出展できる見通しであり、校内で開催している中間報告会で、より良い工作内容や指導方法をプロジェクトメンバー全員で意見交換をしている段階である。

3. 謝辞

今回のサイエンスライブに参加するにあたりご指導やご助言をして下さった本校校長の小林毅先生、まほろば・けいはんな科学ネットワーク事務局の森田聖さんにこの場をお借りして深くお礼申し上げます。